

「アジアかごしまクラブ」で交流拡大

「アジアかごしまクラブ」が香港、シンガポール、韓国・全羅北道の3地域に設立されてから今年度で15年の節目を迎えました。

これら3地域が属するアジア地域は、将来的には世界経済をリードすることが予想されます。そのアジア地域でも特に主要な3地域における人的ネットワークとして、「アジアかごしまクラブ」が活動してきた内容や取り組みなどを紹介します。

「アジアかごしまクラブ」とは

鹿児島県は、香港、シンガポール、全羅北道と長年にわたりさまざまな交流を行っており、その交流実績の中で培ってきた貴重な人的ネットワークを組織化し、アジア地域との多様な交流を一層促進するため「アジアかごしまクラブ」の設立の推進に取り組んできました。

平成11年1月に「香港かごしまクラブ」と「かごしまクラブシンガポール」、3月に「全羅北道かごしまクラブ」が、3地域の鹿児島に縁のある方々を中心として設立されました。

これら3地域が属するアジア地域は、豊富な労働力を背景とする工業化や海外からの多額の投資をもとにした都市化が進むな

ど、将来的には世界屈指の経済規模になることが予想され、本県の産業・経済の振興のために、アジア地域との戦略的な連携・協力関係の構築が求められているところです。

設立15年目を迎えた現在のクラブ会員数は、香港375人、シンガポール124人、全羅北道180人の計679人で、設立時の会員数と比較すると約2.5倍に増えています（平成25年5月現在）。本県での留学や居住経験のある方、海外技術研修員OB、交流会議関係者など鹿児島に縁のある方々が会員になっており、鹿児島との情報交換や鹿児島島のPR、会員相互の交流などを主な活動としています。

香港かごしまクラブ



平成24年10月末に「第18回鹿児島・香港交流会議」のため香港を訪問した知事や議長、経済団体の代表らと意見交換を行いました。

平成23年には、「香港インターナショナルドラゴンボートレース」に参加した南大隅町ねじめドラゴンボートレースチームの歓迎会において、ドラゴンボート関係者などとの交流を深めました。

また、香港では、「日本語・日本文化研修」のため毎年50人を超える学生が鹿児島を訪問しています。クラブ会員は、研修前に大学へ出向き、学生に対し鹿児島島の紹介や滞在中の注意事項等を説明するなどの支援を行っています。



南大隅町ねじめドラゴンボートレースチーム歓迎会
平成23年6月17日



香港でのレースの様子
(写真奥が南大隅町ねじめドラゴンボートレースチーム)



香港かごしまクラブ総会 平成25年3月9日



香港かごしまクラブ設立記念パーティー
平成11年1月

小特集 「アジアかごしまクラブ」で交流拡大

かごしまクラブシンガポール



かごしまクラブシンガポール設立総会
平成11年1月

香港同様、交流会議開催時の訪問団との意見交換に加え、県内自治体のシンガポール視察などの機会を捉え、関係者との情報交換を行っています。

平成16年度から平成21年度までは、本県でのホームステイ体験が副賞となっていた「シンガポール日本語スピーチコンテスト」の優勝者2人をクラブ会員らが食事会に招き、鹿児島島の最新情報の提供や激励を行うなど交流がありました。

平成24年度からは、シンガポールで開催される日本食品見本市「Oishi Japan」でトップセールスなどを行う副知事ら訪問団との交流会を開催するなど、経済交流に係る情報交換を行っています。

なお、本年度は10月に同見本市に参加した県訪問団との情報交換を行いました。

全羅北道かごしまクラブ



全羅北道完州中学校サッカー部
平成25年1月



完州中学校とのサッカー交流の様子

毎年約20人のクラブ会員が鹿児島市で行われるおはら祭りの時期にあわせて来鹿し、県庁訪問や視察などを行っています。おはら祭りの夜まつりにも参加し、おはら節を通して県民との交流を深めています。

クラブ会員には教育関係者が多く、その縁もあって平成23年度から完州中学校サッカー部が鹿屋市を訪問し、大隅地域の中学生とのスポーツ交流やホームステイ体験、県内視察などを行っています。完州中学校は韓国で全国大会優勝の実績を持つサッカーの強豪校で、定期的な親善試合などの交流により、本県中学生のレベルアップも期待されているところです。



おはら祭りの夜祭りでおはら節を踊る様子
平成24年11月2日

アジアかごしまクラブ合同会議

設立15周年を迎えたことを機に、11月1日(金)に各クラブの代表者が一堂に会し、今後のクラブの活動活性化やクラブ間の交流・協力等連携の在り方などについて意見交換を行いました。

今後の「アジアかごしまクラブ」

本県ではアジア地域との人的ネットワークの構築を重視し、各国から国際交流員や海外技術研修員を毎年受け入れ、彼らは帰国後もさまざまな分野において活躍されています。ほとんどの人が滞在中に鹿児島島の素晴らしさを知り、すっかり鹿児島島のファンになったという方も多く、帰国後も何らかの形で鹿児島に恩返しをしたいという声も出ています。こういった方々を中心になって「かごしまアジアクラブ」という人的ネットワークをそれぞれの地において組織し、さまざまな分野で鹿児島島の情報発信を行っています。

今後はこれら3地域だけでなく、アジアの他の地域におけるクラブ設立を推進し、本県の知名度の向上を図り、鹿児島ファンや鹿児島島への観光客の増加に貢献していくことを目指しています。

お問い合わせ先：県庁国際交流課 ☎099(286)2306